

固定資産台帳（R4. 3. 31 現在）の概要

固定資産台帳は、事業を行うための資産、及び道路・河川などのインフラ施設等の固定資産について、その取得と除却処分までの情報を把握・管理するとともに、全国統一的な基準に基づく財務書類の前提となっているものであり、本組合においては令和4年3月31日現在で初めて台帳の整理・作成をいたしました。

本組合の有形固定資産の合計では、取得価額が5,924,190円、減価償却累計額が0円、差引きの現在簿価額が5,924,190円となっております。

また、現在簿価額のうち、事業用資産が0円、インフラ資産が0円、物品が5,924,190円となっております。

なお、有形固定資産（土地、立木竹、建設仮勘定等の非償却資産を除く）の取得価額に対する減価償却累計額の割合を「有形固定資産減価償却率」といい、耐用年数に対してどの程度経過しているのかを把握することができますが、本組合においては0.0%となっております。

（単位：円）

区分	取得価額	減価償却累計額	現在簿価
事業用資産	0	0	0
土地	0	0	0
立木竹	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
船舶	0	0	0
浮標等	0	0	0
航空機	0	0	0
その他	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
その他	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
物品	5,924,190	0	5,924,190
有形固定資産合計	5,924,190	0	5,924,190

減価償却累計額（0円）

※有形固定資産減価償却率 =

減価償却累計額（0円）
有形固定資産のうち償却対象資産の取得価額（5,924,190円）